



くれ

977号
2024年3月19日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→



【島と島を繋ぐ架け橋】

全国一斉ストライキ

24春闘回答への抗議

郵政産業労働者ユニオンは、3月15日、全国一斉ストライキを行った。

24春闘回答に対する抗議の為である。

物価高や人員不足、実質賃金低下と社員の生活が厳しくなっている現状で、会社側が示した回答は社員軽視とも捉えられる内容だった。

日本全体の春闘について、労働組合の中央組織である連合が発表した内容は、第一回集計で5%超え

の賃上げ率だった。

大手企業発端で、満額回答やそれ以上の春闘回答が相次ぎ、中小企業では、4%以上、非正規労働者は6%以上の賃上げ率となっている。

価格転嫁の難しい中小企業で大幅な賃上げとなつた理由として、深刻な人材不足が挙げられる。

将来的に優秀な人材が集まる様、企業広告の意味も含めて積極的な賃金アップを行っている。

非正規労働者の賃金アップも同様である。労働人口減少に拍車がかかり、業績が良くても、人員不足で倒産する企業が増える事が想定されている為、人員確保に尽力する姿勢が見られたが、郵政Gは違う様だ。

会社側が示す基本給

正社員の新卒初任給は、1万程度、一般職は1万円基本給が上がる。

基本給が上がる事は良い事であるが、一般職は定期昇給の上がり幅が少ない為、これで喜ぶ様であれば、会社の思惑にしてや

れている。また、地域基幹職を見れば、課長代理以上のベースアップは一律2,800円となっている。

役職や年齢が高ければ、その分だけ、基本給アップは少なくなる配分がなされている。

正社員軽視を暴露

会社は、一般職と地域基幹職1・2級の統合を早期に実現したい事や定期昇給の廃止を含めた見直しを検討している。

春闘回答でその事が記載されている。地域基幹職を一般職と統合すれば、これまで地域基幹職で住居手当が支給されていた社員が支給されない事になるだろう。労働条件の改悪を狙っているのは明らかだ。

一方で一般職から、地域基幹職を目指して頑張っている社員にとっては一見朗報に見えるかも知れない。

だが、会社の思惑を考えれば、自身の甘い考えと将来の結末が真逆となつていく事に気づくだろう。

会社が示した労働条件検討内容では将来性がないうちよ銀行は一時金が4、4カ月支給される。「社員の頑張りや貢献に会社としてしっかり応え、今後の更なる活躍への期待などを総合的に勘案」して、うちよ銀行の社員は割増し支給が行われる。グループ内格差を生じさせない為に、構造的にうちよ銀行だけが利益独占する状況であるならば、委託業務手数料の値上げ等で調整はできる。郵便局が無ければ、うちよ銀行も企業活動が困難な同一グループだ。郵政Gでは、全社員の頑張り6兆円に及ぶ内部留保を保持しているが、利益還元が行われるのは、一部社員等に限られる。今回はうちよ銀行だが、この様な差をつけて、会社同士や社員同士で不満を生む手法を経営者は使う。一般職と基幹職もそうだが、会社や経営陣が利益独占している事実から目をそらさせる意図であろう。お互いを繋ぎ、共栄できる協業を行うと会社は報道するが、現実の手法は全く異なっている。

グループ内格差

業績内容が良かったうちよ銀行は一時金が4、4カ月支給される。

「社員の頑張りや貢献に会社としてしっかり応え、今後の更なる活躍への期待などを総合的に勘案」して、うちよ銀行の社員は割増し支給が行われる。

グループ内格差を生じさせない為に、構造的にうちよ銀行だけが利益独占する状況であるならば、委託業務手数料の値上げ等で調整はできる。

郵便局が無ければ、うちよ銀行も企業活動が困難な同一グループだ。郵政Gでは、全社員の頑張り6兆円に及ぶ内部留保を保持しているが、利益還元が行われるのは、一部社員等に限られる。

今回はうちよ銀行だが、この様な差をつけて、会社同士や社員同士で不満を生む手法を経営者は使う。一般職と基幹職もそうだが、会社や経営陣が利益独占している事実から目をそらさせる意図であろう。

お互いを繋ぎ、共栄できる協業を行うと会社は報道するが、現実の手法は全く異なっている。

期間雇用社員

「要求に応えることは困

難」と回答して、賃金改善はない。

2023年10月にグループ平均52円の時給引上げを行ってはいるが、地域別最低賃金が賃金ベースとなっており、最低賃金を改善しない限り、状況打破は厳しい。

賃金格差は最低賃金の高い都市部に労働人口が集中する為、過疎地では労働力不足が深刻となる。

全国一律1,500円以上の最低賃金は、労働力の分散にも貢献する為、国の施策として実施する必要がある。

今春闘の結果、フルタイムで働く期間雇用社員が受けられる恩恵は、5月以降準備出来次第支給される特別一時金1万5千円(全社員対象)がメインという厳しい内容となる。

今後の予定

- 4月9日(火) 17:00~
第6回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 4月2日 予定